

# 朝原さん再び世界へ

陸上の北京五輪男子4000メートルメダリストの朝原宣治さん(46)(大阪ガス)が、9月にスペイン・マラガで行われる世界マスターズ4000メートルレースへの出場を目指して練習を重ねている。「やるからには、世界記録と金メダルを取ってきたい」と意気込む。8月には最終調整のために国内のマスターズ大会に出場するなどして、本番に備える。

北京五輪後に現役を引退し、大阪ガスのコーチなどを務める。復帰のきっかけは、かつて国体のリレーで兵庫県代表のチームメイトだった十種競技の元選手でタレントの武井壮さん(45)からの誘いだった。6月には武井さんが司会を務めるテレビ番組「戦え!スポー

「中年の代表に」

## マスターズで記録狙う

ツ内閣」(MBSテレビ)で、現役復帰と45と49歳の部の世界記録(43秒42)更新、金メダル獲得という目標を宣言した。

多忙な業務や陸上教室などの合間を縫って練習。一度、両ふくらはぎに違和感を覚え、練習の強度を落とさざるを得なかった。それでも、7月下旬に兵庫県西宮市で行った練習では軽快な動きを披露した。「スパイクを履いた当初は怖々だったけど、大丈夫だと感

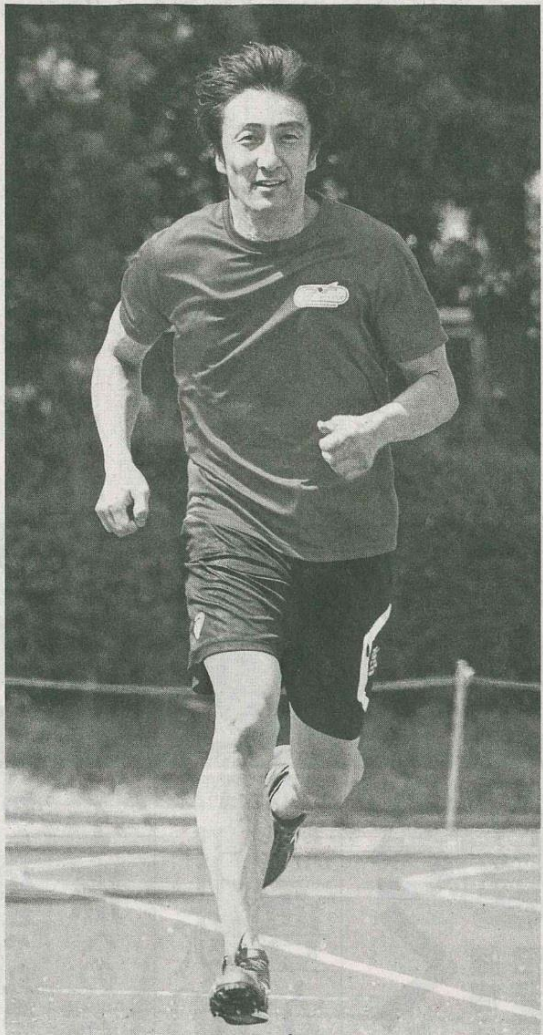
覚的にならなかつた。後半になるとタイミングは合ってきた」と表情は明るい。

実戦となると、2008年9月の引退レース以来ちょうど10年ぶり。「50歳ぐらいまでならテクニックと

タイミングでカバーできるが、その後が今の状態だと「もたない」と現状を厳しく分析する。長いブランクを経ての復帰は様々な面で苦労も多いが、五輪4度、世界選手権6度出場の「レジエント」は納得のいく走り

を追い求める覚悟だ。引退後、陸上を通してスポーツの魅力や健康の大切さを真摯に伝えてきた朝原さん。その信念と情熱が、

年齢を重ねてなお自らの可能性を切り開こうとする力の源だ。「工夫次第で健康な暮らしにつながり、目標を持つだけでメリハリのある生活ができる。中年の皆さんの代表みたいな目で見てもらえれば」。全力疾走を誓う。(北口節子)



世界マスターズ出場に向けて練習する朝原さん。納得のいく走りを追い求める